アセスメント・ポリシー

東京有明医療大学は、教育の成果を可視化し、教育改善を恒常的に実施する目的で、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに則した独自の評価指標に基づき、学生の学修成果を測定・評価するよう定めています。測定・評価は学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関(大学全体)レベル・教育課程(学部・学科)レベル・科目(個々の授業)レベルの3つのレベルにおいて、多面的に行うこととし、各時点・各レベルに以下のような指標を配置します。

レベル	入学前・入学直後 アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証	在学中 カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの検証	卒業時・卒業後 ディプロ・マポリシーを満たす人材になったかどうかの検証
機関レベル(大学全体)	・各種入学試験(調査書、志望理由書、面 接)	・休退学状況(休退学率)・学生満足度調査・課外活動状況・アドバイザー個別面談	・卒業率・学位授与数・就職率・進学率・学生満足度調査(卒業時・卒業後)・雇用先アンケート(社会貢献度調査)
教育課程レベル (学部・学科)	・各種入学試験(調査書、志望理由書、面接) ・入学前教育	 ・GPA ・必修科目平均点 ・成績分布状況 ・修得単位数 ・アセスメントテスト ・学修行動調査 ・進級率 ・再試験者数 ・アドバイザー個別面談 ・出席状況 	・GPA ・必修科目平均点 ・単位取得状況 ・国家試験合格率、合格者数 ・就職率 ・進学率 ・国際交流参加状況
科目レベル (個々の授業)		・成績評価 (テスト)・学外実習評価・成績分布状況・再試験者数・出席状況・授業評価アンケート	

【分析・改善】

PDCA サイクルを実質化するための仕組みとして、発見された課題を解決するための改革案を考え実行する必要があるため、各学部・学科及び各部署は評価の結果と改革案をセットにして大学に提出します。